

2011 度オーストラリア国際交流研修報告書

(2011年7月25日～8月8日 15日間)

大阪府立能勢高等学校
国際交流委員会

1. Mudjee (マジー) について



落ち着いた古い町並みが残る

Mudjee (マジー) はニューサウスウェールズ州の内陸地にあり、シドニーから北西に車で4時間、約390kmのところにある、人口1万人程度の小さな町である。周囲は主に羊の牧場、ブドウやオリーブ畑、炭鉱、起伏のある平原に囲まれており、車で2時間程度走らないと Mudjee 以上に大きな町はない。Mudjee に住む人達は、その静かで平和な生活、必要なものはそろっている環境、町の住民の人柄を愛している。都会から離れているせいか、人情味にあふれ、常に人のぬくもりを感じる事ができる町であった。

2. 交流校 : Mudjee High School (日本語教育に熱心)

Mudjee High School は Mudjee の中心にある中高一貫共学公立学校。日本でいう中学1年生 (year 7) から高校3年生 (year 12) が通っている。生徒は Mudjee の町の住民だけではなく、近郊からスクールバスで約2時間かけて登校する生徒もいる。全校生徒数は千人弱。オーストラリアでは外国語は必修科目ではないが、Mudjee H.S. では外国語の授業として日本語があり (その他の言語はない) 7年生の時に必ず日本語の授業を受け、8年生からは選択科目として受講している生徒が多い。近隣の私立でも外国語を教える学校はなく、それを目的に Mudjee に来る生徒もいる。



運動場で体育 (バレーボール) の授業

3. 参加者数 (計25名) (女子/男子)

	能勢高校 (2名)	北千里高校 (17名)	茨木西高校 (6名)	付添教員 (4名)	能勢高校 参加生徒名
3年	0/0	0/0	0/0	能 勢 1名	2年2組: 阪下 佑実
2年	2/0	2/1	5/0	北千里 2名	2年3組: 原田 歩美
1年	0/0	10/4	0/1	茨木西 1名	

4. 日程 (時差は+1時間)

	日 付	時 間	内 容
1	7/25 (月)	9:00 11:00 16:40 22:10	関西空港集合、チェックイン、出入国に関する説明 関西空港発 (MH053 便) クアラルンプール空港着 クアラルンプール空港発 (シドニー行き MH123 便に乗り換え)
2	7/26 (火)	8:00 12:00 14:00 16:00	シドニー空港着 シドニー空港発 (バスでマジーへ向けて移動) 世界遺産ブルーマウンテン着、昼食 マジー高校着、ホストファミリーと対面、軽食、 ホームステイ開始

3	7/27 (水)	午前 午後	バディーの授業に参加 ウェルカムセレモニー 全校集会で挨拶、プレゼント贈呈 バディーの授業に参加 バディーと共に町中心部散策 (Date 先生、Hutchins 先生の案内)
4	7/28 (木)	1～2 3～4 5～8	Year10 の生徒とブッシュウォーク (Redbank Dam) ESL クラス (Holly 先生、O'Connor 先生) バディーの授業に参加
5	7/29 (金)	1～2 3～4 5～6 7～8	マジー高校の農場見学 ESL クラス (Smith 先生、Noelene 先生) バディーの授業に参加 ESL クラス (Smith 先生、Noelene 先生)
6、7	7/30 (土)、7/31 (日)		ホストファミリーと共に過ごす
8	8/1 (月)	1～8	ESL クラス (Holly 先生、O'Connor 先生) ブーメランを作り、運動場で飛ばす
9	8/2 (火)	1～2 3～4 5～6 7～8	調理実習 (アンザッククッキーを作る) ESL クラス (Holly 先生、O'Connor 先生) スポーツ観戦 (ラグビーのホームゲーム) ESL クラス (Holly 先生、O'Connor 先生)
10	8/3 (水)	1～2 3・4 5～8	ESL クラス (Holly 先生、O'Connor 先生) バディーの授業に参加・全校集会 ESL クラス (Holly 先生、O'Connor 先生)
11	8/4 (木)	終日 夜	バディーと一緒に遠足 (Dunns Swamp 国立公園) フェアウェルパーティー (マジー高校体育館にて)
12	8/5 (金)	1～4 5～6 7～8	ESL クラス (Holly 先生、O'Connor 先生) バディー、マジー高校他生徒と文化交流会 おみやげ購入 (マジー高校特設おみやげショップ設置)
13	8/6 (土)	12:00 15:00 19:00・20:30	マジー高校発 (バスでシドニーへ移動) 世界遺産ブルーマウンテン見学、トロッコ列車乗車 シドニー着、夕食、港見学・ホテルチェックイン
14	8/7 (日)	8:00～ 11:00 12:00・14:00 20:30・23:45	ホテル発→市内見学 (ミセスマッコリーズポイント→ 世界遺産オペラハウス→ロックスマーケット) →空港へ シドニー空港着・シドニー空港発 (MH122 便) クアラルンプール空港着・クアラルンプール空港発 (MH052 便)
15	8/8 (月)	7:15・8:30	関西空港着・解散

5. 学校の時間割 (38分×8時間授業)

月・火・水・木		金	
出席点呼	9:00～9:16	出席点呼	9:00～9:12
Period1	9:16～9:54	Period1	9:12～9:50
Period2	9:54～10:32	Period2	9:50～10:28
休憩	10:32～10:52	休憩	10:28～10:52
Period3	10:52～11:30	Period3	10:52～11:30
Period4	11:30～12:08	Period4	11:30～12:08
休憩	12:08～12:18	休憩	12:08～12:18
Period5	12:18～12:56	Period5	12:18～12:56
Period6	12:56～13:34	Period6	12:56～13:34
ランチタイム	13:34～14:09	ランチタイム	13:34～14:09
Period7	14:09～14:47	Period7	14:09～14:47
Period8	14:47～15:25	Period8	14:47～15:25



全校集会でスピーチ、プレゼント贈呈

6. 学校での過ごし方 （常にバディー生徒とともに）

（バディーとはホストファミリーの生徒。学校生活や家庭生活において世話をしてくれる。）

ほとんどのホストファミリーが学校近くに住む家庭で、バディーと一緒に徒歩や保護者の車で登校する。スクールバスが市内から近郊を走っており、バディーと一緒にスクールバスを利用して登校する生徒もいる。朝、9時前に登校し、中庭で友達と話をして過ごす。バディーと共に教室で出席点呼後、プログラム通りにバディーに連れられて活動場所まで来る。ESL（English as a second language）や日本語の授業に参加する時以外は常にバディーと共に過ごす。自宅で過ごす時間はもちろん、登下校、教室移動、休憩時間、ランチの時など2週間の間、片時も離れることなく、とてもお世話になった。そのお陰で学校生活にすぐに慣れ、他の生徒とのコミュニケーションも自然と取れるようになった。

ランチタイムが日本に比べても遅い時間に設定されているので、最初の20分休憩の時に軽いスナックを食べる生徒が多い。ホストファミリーはランチ用と休憩用にスナックや、お弁当、果物を持たせてくれていた。お弁当がないときは売店（Canteen）で軽食を買うことができる。基本的にHR教室がないため、中庭などで食事をする。ホストファミリーをしていない生徒と日本人生徒とが話す機会ともなり、相互交流の良い場となっている。



バディーと一緒に学校のお別れ会

7. 家庭での過ごし方 （家族の一員として）

ホストファミリーは経験のある家庭がほとんどであり、家族同様にもてなしていただき、暖かいオーストラリアの家庭生活を体験できることが出来た。最初は英語が全く分からず戸惑っていた生徒が多かったが、日が経つにつれコミュニケーションがとれるようになり、すっかり家族の一員として過ごすことができるようになった。週末はそれぞれの家庭で過ごし、動物園に行ったり、ハイキングや乗馬をしたり、パーティで集まるなど、楽しい思い出となった。ホストファミリーの方も生徒たちの滞在をとても楽しんでいただいた。



バディーの友人の誕生日パーティー！



ホストペアレンツと

8. 学校の対応 （気さくな先生方）

Melissa Date 先生（日本語の先生）が中心となって我々の滞在中の全てを準備、手配してくれた。初日には学校集会で日本からの生徒全員の紹介と代表挨拶があり、学校全体の歓迎ぶりがうかがえた。図書館では、ESL(英会話クラス)用に一室を使用し、毎日そこで生徒と顔をあわせて話をし、生徒の様子を確認できた。また、司書室を付き添いの3人の教員の待機部屋として提供していただいた。司書の方々にはとても親切にいただき、お世話になった。

9. ESL (英会話) の授業

Holly 先生と O'Connor 先生 2 名が担当され、金曜日の 1 日だけ、昨年度まで担当されていた Smith 先生と Noelene 先生の授業であった。教材には、先生の自己紹介文から新出単語を覚えたり、オーストラリアの動植物の写真と名前、ブーメラン作成など、生徒には興味深い内容になっていた。最初は緊張し、発言も少なかったが、日本滞在経験もある先生方の楽しい授業展開により、どの生徒も人前で英語を話すことにしだいに慣れていった。3 校合同で、語学力の差は特に感じられなかった。



昨年までお世話になっていた
Smith 先生の授業



2 週間の ESL 終了証！
Holly 先生、O'Connor 先生と

10. フェアウェルパーティー (お別れ会)

(8 月 4 日 18 時～20 時)

ホームステイのマジーを離れる前々日に「フェアウェルパーティー」が開かれた。ホストファミリー、バディー、マジー高校教員などが学校の体育館に集まり、楽しんだ。日本の生徒はそれぞれの出し物をした。能勢高校は、書道を披露し、漢字の紹介やカタカナで名前を書いてプレゼントした。マジー高校からは日本の生徒にプレゼントが渡され、中心教員の Date 先生から感謝の挨拶があった。



文化交流会で「がんばろう日本！」

11. 文化交流会

文化交流会は今回の研修の大きな目的の一つであり、事前に日本で十分な準備をしている。能勢高校の生徒は、オーストラリアでも話題にされている東日本大震災を受け、「がんばろう日本！」と書道で表現した。マジー高校からは、歌あり踊りありで、お互いの文化交流で大いに盛り上がった。

12. お別れ

マジー出発の日の午前中は、それぞれのホストファミリーと最後の時を過ごした。昼に学校に集合し、全員が別れを惜しんだ。再会することを約束し、涙の別れの挨拶をして、マジーを後にした。

13. マジー高校生が来日の予定！相互交流！

ホストファミリーのマジー高校生が、能勢の友人を訪ねてやってくる。今年に予定されていたのだが 3 月の東日本大震災で延期になっていた。しかし、来年 4 月に、マジー高校 30 人の生徒が 4 人の先生の付き添いで、日本にスタディーツアーで来る予定である。マジー高校の生徒も先生も、例年の日本交流相手を訪問できることを非常に楽しみにし、盛り上がっている。



今年の日本訪問用に
作られていた T シャツ！



最後の記念撮影
バスの出発前にホストファミリー全員と